

古道・街道歩き 富田林 金胎寺山・寺内町

2024年10月14日(月)

<参加メンバー> 6人(男性5人、女性1名)

<天 候> 晴れ

< コースタイム >

- 10:05 南海河内長野駅
- 10:30 登山口
- 11:15-11:50 金胎寺山
- 12:15 腰神神社
- 12:45 近鉄汐ノ宮駅
- 13:00 近鉄富田林駅
- 13:10 寺内町センター
- 13:25-15:05 寺内町観光
- 15:05-16:20 バンリノハルビアホール
- 16:30 近鉄富田林駅

< 山行の概要 >

古道・街道歩きシリーズ。今回は大阪府富田林市の最高峰で、楠木正成が築城した城跡でもある金胎寺山と、大阪府唯一の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている寺内町に行きました。

南海電車で河内長野駅へ、そこから細い車道を歩いて登山口から金胎寺山へ。山頂からは葛城山、金剛山や六甲山方面が見渡せました。

昼食休憩後、近鉄汐ノ宮駅から電車に乗り、富田林駅へ。寺内町センターへ行き、お願いしていたボランティアガイドさんと合流。多く残っている江戸時代の建物、お寺などの説明を聞きながら散策。最後は造り酒屋を改造したビアホールで打ち上げ。
(M・O記)



1 河内長野駅から出発。



2 細い車道を歩きます。



3 ここから登山口へ。



4 金胎寺跡



5 竹林の中を登ります。



6 金胎寺山の山頂に到着。



7 葛城山と金剛山が見えています。



8 下山して、駅に向かう途中に腰神社に寄りました。645年創始の由緒ある神社です。



9 電車で富田林駅に。そこから寺内町ホールへ。



10 ボランティアガイドさんと合流して、説明を聞きながら寺内町巡り。



11 江戸時代の建物が多く残っています。



12 今も住んでいる人がいるそうです。



13 歴史街道で、日本の道100選にも選ばれています。



14 重要文化財の興正寺別院。寺内町発祥の中心です。



15 重要文化財の旧杉山家住宅。寺内町一の造り酒屋。入場料を払い、入りました。



16 バンリノハルビアホールで散策終了。



17 以前は万里春というお酒を造っていたそうです。



18 地ビールで乾杯。